

H 2 O s a k a ビジョン推進会議 第 2 回会議 議事要旨

日 時：平成 2 9 年 3 月 2 9 日（水）午後 3 時～ 5 時

場 所：一般財団法人大阪科学技術センター 8 階 中ホール

出席者：（会長）

（敬称略）秋元圭吾（公益財団法人地球環境産業技術振興機構）

（構成団体）

池田泉州銀行、岩谷産業、大阪科学技術センター、大阪ガス、川崎重工業、関西エアポート、関西電力、近畿大阪銀行、積水ハウス、大和ハウス工業、竹中工務店、東芝、豊田通商、パナソニック、日立製作所、日立造船、三井住友銀行、三井物産、三菱東京 U F J 銀行、三菱日立パワーシステムズ、りそな銀行

（事業別研究会座長）

F C 船研究会座長、F C パス研究会座長

（大阪府 / 大阪市関係課）

府）空港・広域インフラ課、エネルギー政策課、交通環境課

市）都市計画局、大阪市立大学

（事務局）

大阪府商工労働部成長産業振興室新エネルギー産業課、大阪市環境局環境施策部環境施策課

議事要旨

議題 1 「今年度の取組について」

資料 1 について事務局から説明

（意見等）

F C パスについて

・関西国際空港で 5 月末開催予定の旅博で F C パス試乗会の実施を計画しているので、ぜひご参加いただきたい。また、空港島内のイワタニ水素ステーション関西国際空港では、水素エネルギーについて一般の方にも触れていただけるよう展示コーナー等も併設しているので、あわせて見学していただきたい。

エネルギー面的利用について

・同じようなビルがある中で需要パターンは似ているので、エネルギー融通は難しくはないか。事業所の移転等で所有者が変わっていく中で、どのように進めていくのか。まちづくりだけでなく、熱源更新も含めて考えていく必要がある。エネルギー関連企業として引き続き支援していきたい。

・面的利用を促進するうえで、様々な地権者、施工業者がいる中でどのように進めていくのか。

地権者が同じであれば進めやすいと思うが、船場地区は、複数の地権者等のとりまとめが必要になることから、面的利用に対する理解を普及していくことが必要。ぜひともご協力いただきたい。

大阪市立大学人工光合成センターの紹介について

・太陽エネルギーを利用したエネルギーの生成技術を活用して、エネルギー貯蔵としてギ酸へ変換した場合、このギ酸を液体燃料として使用する際に、結局二酸化炭素を排出するため、水素の状態のほうがいいのではないか。

当初、水素は貯蔵が難しいといった課題があったのが、安全かつ長期的に貯蔵できるような技術も開発されているので、本研究も水素ヘシフトしていくことも検討する必要がある。

議題2 「来年度へ向けて」

資料2について事務局、日立造船株式会社から説明

(意見等)

全体を通して

- ・日立造船から報告いただいた、業務・産業用S O F Cの大阪府・市公共施設を活用した社外実証プロジェクトは、事業者と大阪府・市が連携して取組を進めた好事例。他の企業も、いろいろな取組みの可能性を検討していく中で、大阪府市に相談いただき、プロジェクトにチャレンジしていただきたい。
- ・水素を利活用していく中で、ボトルネックとなる課題があると思うので、規制緩和等における課題等があったら大阪府市にご相談していただきたい。
- ・関西広域連合での取組みも進められることから、大阪府市だけでなく広域的な連携において水素エネルギーの普及に向けて新たな取組をされるということで期待したい。

議題3 「その他」

資料3について事務局から説明

(意見なし)

以上